

(学年) 第3学年, (教科・科目) 家庭・フードデザイン

一斉学習

(単元) 様式別の献立と調理・食卓作法

(本時のねらい)

食事は単に生命維持や健康増進を目的としているわけではない。円滑なコミュニケーションや食文化の伝承等も食事の持つ大切な役割である。本時の学習により、様式別料理の特徴や食卓構成、食卓作法を身につけ、食事の場における円滑なコミュニケーションを図ることができる生徒を育てたい。

(ICT活用方法)

従来は黒板に資料を提示したり、プリントで説明していたが、プレゼンテーションソフトを用いた説明や動画を活用することで、生徒の理解を深められるようにした。電子黒板(授業実施時はモニター)を使用することで、画面に大きく映し出すことができるため、生徒が視覚的に理解することができる。

また、座席の順番を授業支援クラウドアプリのノート配布機能を用いて学習することで、生徒はクイズ感覚で問題に取り組むことができ、興味・関心を高めることができた。さらに、教育クラウドプラットフォームを用いて小テストとアンケートを実施することで、本時の学習の振り返りをできるようにした。

(本時の展開)

| 時間 | 学習活動 | 指導事項 | I C T活用方法 |
|-----------|---|---|--|
| 導入 5分 | ・ 本時の学習内容と目標を知る。 | ・ 本時の学習内容と目標を説明する。 | |
| 展開 35分 | ・ 座席の決め方を知る。 ・ 食事作法を知るとともに、基本的な動作を身に付ける。 | ・ 授業支援クラウドアプリで作成した座席図をノート配布し、上座はどこか、座る順番を各自記入させる。 ・ 日本料理における食事作法について動画で確認させる。 ・ 箸の持ち方や使い方について、ペアで動画撮影させ、自分の動作について | ・ モニターに床の画像を掲示する。 ・ 画面をモニターで提示する。 ・ 1人1台端末を利用し、各自で動作を確認する。 |

| | | | |
|------------|---|---|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・ 食事中に気をつけるべきポイントを知る。 | 確認させる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 設問に対する選択肢を提示したり助言したりすることで，生徒が主体的に発言できるよう促す。 | |
| まとめ 10分 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 本時の学習内容を振り返る。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育クラウドプラットフォームを用いて振り返りの小テストとアンケートを記入させる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育クラウドプラットフォームの小テスト機能を用いて，本時の内容の理解度を把握しやすくする。 |

(授業の様子)



(説明の様子)



(動画視聴時の様子)



(学習の様子)

(生徒の反応と課題，改善を要する点)

I C Tを活用することで，分かりやすい授業を展開することができた。ワークシートを使った生徒の発表も授業支援クラウドアプリを活用することで，他の生徒の意見を視覚的に捉えることができるようになり，意欲的な学習を喚起することができたと考える。電子黒板設置前だったのでモニターでの投影であったが，生徒は集中して動画やプレゼンテーション資料等を見ていたように感じた。スクリーンやプロジェクターの準備にかかる時間がなくなるので，今後電子黒板を使った授業をもっと取り入れたいと思う。

I C T活用の改善点として，教員及び生徒の I C T活用能力の向上があげられる。今回の実践において，一人一台端末の動作不良や教師用端末の不具合等があり，計画していたところまで学習活動ができない場面があった。生徒の I C T活用能力にも差異があり，教員の支援が回らない場面もあった。本時の授業では生徒が他の生徒を助ける場面も見られ，I C Tの活用が生徒たちの間にも浸透していると感じることができたが，誰もが主体的に I C Tを活用できるよう，今後の課題としたい。また，「I C T機器を使った授業をした」という満足に終わるのではなく，I C Tの活用を通して生徒の「深い学び」となるよう，教材研究を今後も行っていきたい。